

<兵庫区の滝> 千鳥が滝 - 新湊川水系・石井川（二級河川）

「千鳥が滝」は、山麓線を走る市営バスを石井橋で下車し、そこを流れる石井川の右岸に沿って（川は流水の方向に従って右左を決めるので、この場合、山に向かって見ると左側の道になります）遡って行ったところにあり、竜神伝説を持つ滝です。

滝のある辺りは昔の石井村に当たりますが、伝説によると、そこに住んでふだんから人知れず徳を施していた谷佐太夫という老夫婦のところに隠れ蓑・隠れ笠をつけた娘が来て、いろんな物を置いて去ったため、夫婦がこっそり後をつけたところ、娘は北にある「千鳥が滝」に姿を消し、その正体が竜神だった・・・とされています。



「千鳥が滝」の名前は、「深山かと思ひ来ぬれば さはあらで 千鳥が滝に 潮ぞ満ち来る」の古い歌にちなむとも、滝の流れに曲折が多い(=

「千鳥掛け」)ためだとも言われています。（この話は、兵庫区のホームページで紹介されています。）



滝の高さは約15m。滝というイメージから連想されるように真下に落ちているわけではありませんが、滝つぼに当たるところは確かに小さいながら淵になっています。ただ、竜神が住むところとしては、残念ながら水がいささか濁っているようです。

<一口メモ>

千鳥掛け...系緒などを互いに斜めに打ち違えて掛けること。斜めに打ち違えた状態（広辞苑より）。

